

令和6年9月17日発行



五小だより

学校だより 臨時号
東久留米市立第五小学校
校長 古矢 美雪

令和6年度 学力調査結果について

朝夕日毎に涼しくなってきました。保護者の皆様におかれましては、お健やかに過ごしのことと存じます。日頃より、本校の教育活動へのご理解、ご協力ありがとうございます。

さて、4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果が届きましたので、お知らせいたします。東久留米市のホームページからもご覧になれますので、あわせてご覧いただけましたら幸いです。

【国語】

「B 書くこと」において以外、本校平均正答率が、全国平均正答率と東京都平均正答率より上回っています。とくに、「(3) 我が国の言語文化に関する事項」では、全国平均正答率より7.5%も上回っています。伝統的な言語文化に親しみ、昔の人のものの見方や感じ方を知ることや言葉の由来に関する事について理解が深まっていることを表しています。また、「C 読むこと」においても、全国平均正答率より5.7%上回っています。校内研究で、国語の「C 読むこと」について取り組んでいる成果が出ていると感じます。

一方で、「B 書くこと」は、全国平均正答率は上回っていますが、東京都平均正答率を下回っています。目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にする力をさらにつけていく必要があります。そのため、事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動を取り入れ、伝えたいことを明確にする力を育てていけるようにします。

分類	区分	平均正答率(%)			
		本校	東京都(公立)	全国(公立)	
全体		74	70	67.7	
学習指導要領 の内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	73.8	67.9	64.4
		(2) 情報の扱い方に関する事項	91.1	88.8	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	82.1	75.3	74.6
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	66.4	63.9	59.8
		B 書くこと	69.1	69.9	68.4
		C 読むこと	76.4	71.9	70.7
評価の観点	知識・技能	78.0	72.6	69.8	
	思考・判断・表現	70.8	68.4	66.0	

【算数】

どの項目も、本校正答率が全国平均正答率と東京都平均正答率より5%以上も上回っています。とくに、「D データの活用」については、全国平均正答率より9%も上回っています。目的に応じたデータの収集や分類整理、表やグラフの選択など、一連の統計的な問題解決ができるようになることや、結論について多面的に捉え考察できる力が身に付いていると言えます。

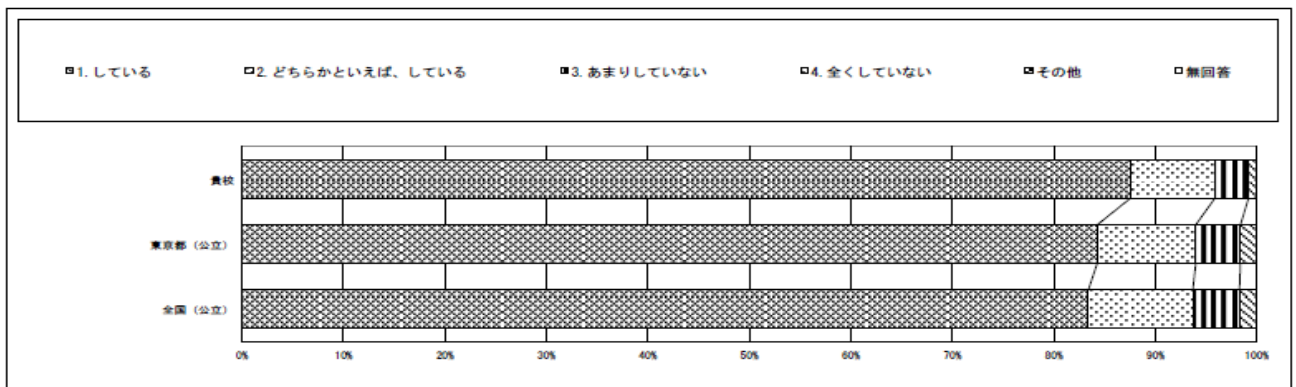
一方で、「B 図形」については問題別集計に着目すると、「《直方体の見取り図について理解し、書くことができるかどうかを見る問題》と《球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかを見る問題》が、全国平均正答率より上回っていますが、東京都平均正答率よりは下回っています。図形を構成する要素に着目し、図形の性質を見出すとともに、図形の構成の仕方やその性質を見出し論理的に説明したり、それを基に既習の基本図形を捉え直したり日常の事象の考察に活かしたりする活動を通して、図形の性質や図形の計量について考察する力を養うように指導していきます。

分類	区分	平均正答率(%)		
		本校	東京都(公立)	全国(公立)
全体		71	68	63.4
学習指導要領 の領域	A 数と計算	73.5	70.6	66.0
	B 図形	73.4	70.8	66.3
	C 変化と関係	60.5	59.3	51.7
	D データの活用	70.8	65.2	61.8
評価の観点	知識・技能	78.6	76.7	72.8
	思考・判断・表現	62.3	57.1	51.4

【児童質問紙調査】

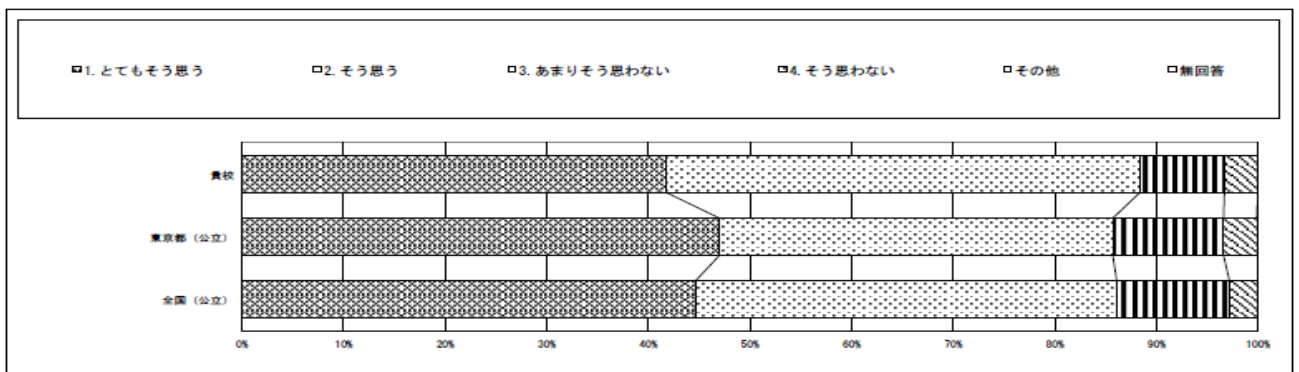
児童質問紙調査では、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査が行われました。「朝食を毎日食べていますか」、「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の生活習慣に関する質問では、「している」「どちらかといえば、している」と肯定的に考えた児童の割合が、全国平均と東京都平均を上回っています。ご家庭でのご指導など、ご協力をいただいている結果、基本的な生活習慣が身に付いている児童が多いことが分かります。引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

質問番号	質問事項											
(1)	朝食を毎日食べていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	87.5	8.3	3.3	0.8							0.0	0.0
東京都(公立)	84.2	9.7	4.4	1.6							0.0	0.0
全国(公立)	83.4	10.3	4.6	1.7							0.0	0.0

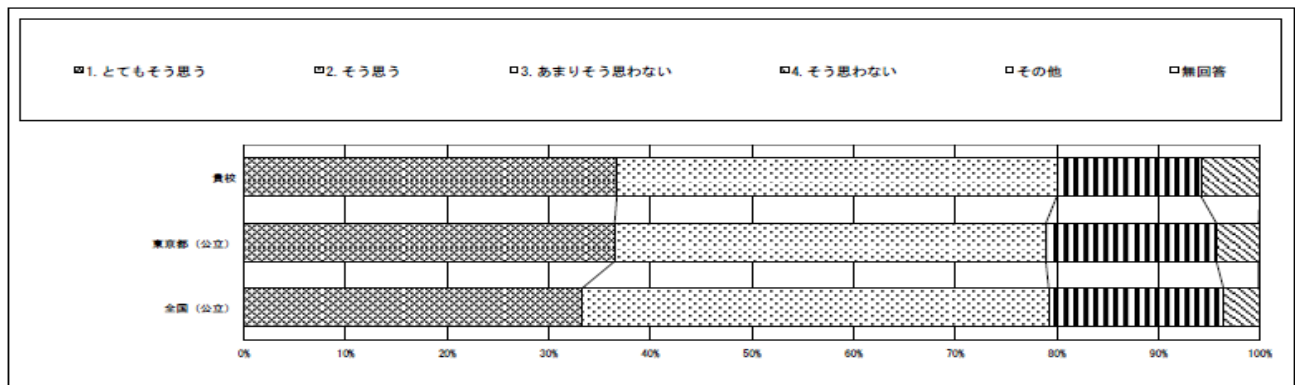


また、学習の中でタブレットを活用することについて、「自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」、「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」の質問では、「とてもそう思う」、「そう思う」と答えた児童の割合が全国平均と東京都平均を上回っています。タブレットを使い、自分の考えを整理したり、グループワークで友達と協働して行ったりすることで、学びが深まり学習の定着に結び付いていると感じます。児童の学びを深めるような学習活動を今後も続けていきます。

質問番号	質問事項											
(28-6)	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(6) 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	41.7	46.7	8.3	3.3							0.0	0.0
東京都(公立)	47.0	38.7	10.9	3.3							0.0	0.1
全国(公立)	44.6	41.5	11.1	2.7							0.0	0.1

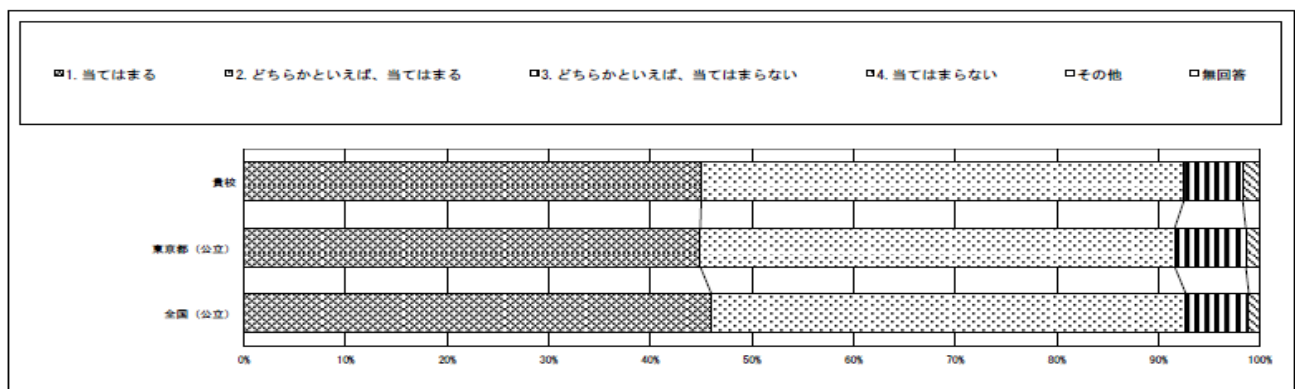


質問番号	質問事項											
(28-5)	5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(5)自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	36.7	43.3	14.2	5.8							0.0	0.0
東京都(公立)	36.5	42.5	16.8	4.2							0.0	0.1
全国(公立)	33.3	45.9	17.2	3.5							0.0	0.1



「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問では、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に答えている割合が、東京都平均を上回っています。しかし、9割を超えてはいませんが、全国平均は下回っています。困っている人を助けている児童は多く見かけていますが、助けたいと思う気持ちがあるけれども、とっさに動くことが難しい児童もいるようです。お互いに助け合える雰囲気作りを学級でも行ったり、勇気をもって行動に移すことのよさを一緒に考えたりしながら、児童が自分から行動に移すことができるようにしていけるよう励ましていきます。

質問番号	質問事項											
(12)	人が困っているときは、進んで助けていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	45.0	47.5	5.8	1.7							0.0	0.0
東京都(公立)	44.9	46.7	7.0	1.4							0.0	0.0
全国(公立)	46.0	46.7	6.2	1.1							0.0	0.0



(児童質問紙調査の結果については、一部抜粋を行っています。)

【個人票について】

個人票を返却いたします。個人票には、問題の正答数だけでなく、全国正答率、学習した学年、学習指導要領における領域、問題の形式が記載されています。得点だけに目を向けるのではなく、間違えた問題の領域や観点などを振り返り、見直しをしておくことが大切と子供たちにも話しました。